

キャラクター紹介

カスミ

年齢：17 性別：女性

出身：不明 階級：不明

TACネーム：ドロシー(Dorothy)

中央の教育施設からアイナ島にやってきた少女。

自分がやってきた理由も知らぬまま、ニクス隊の一員となり、空を泳ぐ様になる。

どこか浮世離れた様な雰囲気を持ち、その年齢にふさわしくない子供のような質問をすることがある。

感情の起伏に乏しく、会話は出来るが、どこかずれている。

ユウリ

年齢：27 性別：男性

出身：アレミア連邦 階級：二等空佐

コールサイン：アイランドリーダー(Island Leader)

若くしてアイナ島航空基地司令兼第901戦術戦闘飛行隊司令を務める青年将校。

平時においては司令官としての職務の傍ら、まだ若い隊員たちの勉強を見ている。

その為隊員達からは「先生」と呼ばれ、親しまれている。

物静かで、あまりバカ騒ぎを好まないが、酒は嗜む程度ではあるが好き。

危機に対して動じる事無く、島と隊員達を守ることを第一に考えている。

カイリ

年齢：26 性別：男性

出身：アレミア連邦 階級：一等空尉

TACネーム：テルミネス(Terminus)

第901戦術戦闘飛行隊隊長。ユウリとは兄弟で、士官コースを行く兄とは違い、空を泳ぎ続ける現場を選んだ。

若いのが、幼い頃に教え込まれた飛行技術は非常に高く、他の追従を許さない。

兄と正反対で非常に賑やかな性格で、良くユウリやテツロウに私語を慎むよう叱られている。

飛行訓練等では常に賑やかな様子だが、事務作業が苦手で、よくユウリやキリカに叱られている。

キリカ

年齢：18歳 性別：女性
出身：アレミア連邦 階級：2等空尉
TACネーム：ソール(Sol)

第901戦術戦闘飛行隊ニユクス隊副隊長。飛行技術に非常に長けた隊員としてアイナ島にやってきた。
配属時は誰とも話そうとせず、一人で自室にて飛び方の研究などを行っているくらい内向的だったが、初フライトの後に起こった事件をキッカケに、他の隊員とも少しずつ会話をするようになった。
現在では、カイリのことを支える良い副隊長である。口癖は「チェック・シックス(背後に注意)」

ツユキ

年齢：17歳 性別：女性
出身：不明 階級：三等空尉(扱い)
TACネーム：ディアナ(Diana)

明朗快活なニユクス隊3番機で、カイリやイオリに負けず劣らずのおしゃべり。
敵を補足すると、どこまでも執拗に追いかけて回し、キルを取る事と、空を泳ぐ事が何よりも好きだと言い切る。
しかし、機体に重度の負荷がかかる飛び方を繰り返すため、整備士のユキにいつも叱られている。
隊の雰囲気をも明るくしてくれるムードメーカーで、誰とでも仲良く出来るのが特技。

アサミ

年齢：20歳 性別：女性
出身：エイガー共和国 階級：准空尉
TACネーム：クロノスリーダー(Chronos Leader)

かつての大戦においてアレミアと戦火を交えた敵国、エイガー共和国連邦出身。
自国の戦い方に疑問を呈し、単身アレミアに亡命。アレミア連邦共和国の志願兵として入隊した。
実力で他者を黙らせることに強い誇りと執着を持っており、自分の故郷にすら容赦なく攻撃を行う。
サンドラ基地に所属していたが、ユウリのスカウトによってアイナ島基地にやってきた。

イオリ

年齢：18歳 性別：女性
出身：レガルト国 階級：一等空曹
TACネーム：チャター(Chatter)

クロノス隊の副隊長を務める少女。この隊随一のお喋り好きで、テツロウやユウリからもカイリ共々よく叱られる。アレミア空軍の海外基地従業員の両親の元で生活していたが、空を泳ぐ戦闘機への憧れからアレミアへ渡った。最初は勉強だけで手一杯だったが、「空を泳ぎたい」と言う思いだけでトップエースにまで上り詰めた。アサミとは事あるごとに模擬戦を行い、五分の勝負を続けている。

オトカ

年齢：13歳 性別：男性
出身：不明 階級：上級曹長
TACネーム：クレバー(Clever)

アイナ島航空基地最年少の隊員で、飛行経歴も未だ浅いが、空戦に対する天才的なセンスによってアイナ島の飛行士となった。物静かで、賑やかなことが苦手だが、他の隊員達の影響を受け、今では数少ないツッコミ役となっている。隊長であるアサミや年上であるイオリ・ツユキのことを呼び捨てで呼ぶが、敬語で話している。元々はエイガー共和国によって誘拐され、少年兵としての教育を受け、先の大戦を生き抜いた。

テツロウ

年齢：30 性別：男性
出身：アレミア連邦 階級：二等空尉
コールサイン：インディゴブルー(Indigo Blue)

穏やかで物腰が柔らかいアイナ島の作戦司令官。早期警戒管制機(AWACS)のコマンダーも兼任しており、両隊の隊員達を「お嬢さん」「お兄さん」と呼ぶ。隊員達からは「テツさん」と呼ばれて慕われている。先の大戦で徴兵され、下士官学校を卒業したが、前任の総司令に作戦指揮と立案の素晴らしさを買われ、前代未聞の「統合作戦司令部 司令長付」となり、大戦終結に大きな役割を果たした。

ユキ

年齢：18歳 性別：女性

出身：アレミア連邦 階級：上級曹長

コールサイン：グリージープリンセス(Greasy Princess)/アイナ・タワー(Aiina Tower)

アイナ島航空基地の整備士。整備の腕はアレミア空軍の中でもトップクラスで、整備士班をまとめる班長。

整備士長を務める父親に負けず劣らずの豪胆さを持ち、相手が男だろうが容赦がない。

自分の腕にしっかりとした自信を持っており、機体の整備が万全である事が、隊員達の安全につながると、

細やかで丁寧な整備を行っている。航空管制の資格を持ち、有事の際はアイナ島の航空管制を取り扱うことも。

シゲル

年齢：27歳 性別：男性

出身：アレミア連邦 階級：大將

TACネーム：ガーフィールド(Garfield)

アレミア連邦共和国空軍総司令官。

ユウリとは士官学校時代からの友人でありライバル。

カスミのアイナ島基地配属や、この基地そのものの生い立ちに関わっているようだが……

常に冷静に、冷酷に、自他問わず厳格に任務を遂行する事を重んじている。

ハルヒコ

年齢：不詳 性別：男性

出身：アレミア連邦 階級：大佐(以前)

TACネーム：デッドヘッドダディ

豪胆で賑やかなアイナ島の整備士長。

隊員達からは「お父さん」や「親父さん」と呼ばれている。

整備の腕はアレミア空軍でも随一と呼ばれ、若い整備士達に対して厳しくも優しく育てており、部下たちからの信頼も厚い。

元々は統合参謀本部研究総局の主任研究士官として、機械技術や機体の安全装置等の研究をしていたが、ある事件の結果、アイナ島へやってきた。

世界設定

第901戦術戦闘飛行隊

第901戦術戦闘飛行隊は、アレミア連邦共和国アイナ島にあるアイナ島航空基地を拠点とするアレミア連邦共和国空軍の飛行隊。

正式名称は「アレミア連邦共和国空軍 西方方面航空大隊 第3航空団 アイナ島航空基地分遣隊 第901戦術戦闘飛行隊」となる。

2つの航空機隊と1つの後方支援隊で構成されており、アレミア国内の他の飛行隊と異なり、独立した動きを取っている。

ニユクス隊

第901戦術戦闘飛行隊の主務隊。隊長はカイリ。副隊長はキリカ。

総司令部より発出される実験命令に沿って、航空機戦闘の開発研究の為の実験飛行が主な任務。

また、平均年齢が若いこともあり、実験飛行隊と教育飛行隊の両方の側面を持っている。

クロノス隊

第901戦術戦闘飛行隊の副務隊。隊長はアサミ。副隊長はイオリ。

主任務として、ニユクス隊のフライトに同行・追跡し、飛行実験の評価や戦闘訓練の「アグレッサー部隊(仮想敵部隊)」としての役目を担っている。

アイナ島基地隊

第901戦術戦闘飛行隊の後方支援隊。隊長は基地司令兼飛行隊総司令のユウリが兼任。副隊長は作戦指揮官のテツロウ。

アイナ島航空基地の管理・航空管制・整備等、通常は独立した各部隊が一つとなっている特殊な後方支援隊。

便宜上、「アイナ島基地隊」と呼称しているが、通常時固有の部隊名称はないとされている。

アイナ島航空基地

アレミア連邦共和国の南西に位置する離島「アイナ島」に存在するアレミア連邦共和国空軍の航空基地。

第901戦術戦闘飛行隊の本拠地として機能している。

基地司令官はユウリ。第901戦術戦闘飛行隊司令と兼任。

空の欠片の深いあお。 オーディション用原稿

キャラクターを選び、A・B双方のセリフを読んで下さい。

カスミ

A：総司令部首都管区飛行隊から本隊に配属となりました、カスミです。飛行経歴はまだ浅いですが、皆様と共に空を泳げることを喜ばしく思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

B：…私の使命。この島を、この世界を守る…それが正しいのか、間違っているのか。そんな事が頭をよぎる。

ユウリ

A：実弾射撃訓練に参加する者は、無用の事故が無い様、くれぐれも注意してくれ。

飛行訓練はいつもと違う形になる。気を引き締めてかかるように。以上。

B：アイランドリーダーから全機。南西方向及び北東方向から爆撃機の編隊、並びに護衛の戦闘機が多数接近。ニュクス隊及びクロノス隊各機は、爆撃機にお帰り頂くよう、攻撃を加えよ。

カイリ

A：昔から空を泳ぎたいって思ってたんだ。初めて親に連れられて外国に行った時、飛行機の窓から見える空が綺麗でな。時差ボケするから寝ろって言われたけど……ずーっと見てた。

B：てめえ…謝って済む問題じゃねえんだ！結果的に戦果を上げて帰ってきた。だが、それはきちんとした指揮系統あってこそだって、お前も当たり前に分かってるだろ？それをなぜ俺の命令を無視して勝手な飛び方をした！

キリカ

A：タリホー。5隻確認。全て高速の小型艇。…国籍が認識できるものは無い。ソールよりインディゴブルー。警告を開始しますか？

B：…どうしても、イメージが出来ない。自分が先頭を引き、隊を率いる姿。隊長がいない空で、私が泳ぎ続ける理由があるのだろうか。

ツユキ

A：だ…だってしょうがないじゃん！ああでもしないとあいつらずーっとツユキのお尻狙ってたんだよ！？
それを振り払う為に必死で逃げてたんだもん！

B：だって、ツユキ達は軍の人間だもん。命令に違反したら、この場所にはいられない。
…ううん。ツユキは……殺されるかもしれない。命令に違反するなんて、ツユキには絶対出来ないから。

アサミ

A：ああ、大したことじゃなかったわ。カスミとツユキとイオリの学習プログラムについてだった。
私にも手伝って欲しいんだってさ。全く。驚かせるなっつーの！ってね。

B：仕方ないじゃない！私達は他国の生まれ。アレミア軍にいくら忠誠を尽くしても、
どれだけキルレシオを上げて、どれだけ味方を守っても、私達は余所者なの！

イオリ

A：まあね～。あまりにも喋りすぎるからって、TACネームもチャターにされちゃうくらいだから。
でも、あたしはこのTACネームに誇りを持ってんだよ。だって、そう言うものじゃない？

B：他国から来たスパイだって……そう思われても仕方ないって、ずーっと思い続けてきたんです。
だから、あたしはアサミンみたいにはなれないなーって。それが、あたしの限界なんですよ。多分。

オトカ ※男性でも女性でも構いません

A：ボクはやめておきます。宿題やらないといけませんから。ツユキさんもイオリさんも、早くやらないと
司令に怒られますよ？

B：アサミは……アサミはどうしてそんなに冷静でいれるのさ！だっておかしいじゃないか！
いくらボク達がよそ者でも、こんな扱いを受ける理由は無いはずだ！そうだろう！？

テツロウ

A：ミサイル命中！よくやったテルミネス。各機、全機撃墜を確認した。ミッションコンプリート。
さあ、家に帰ろう。みんな、お疲れ様。

B：人類の世界から、戦争の文字を消す。壮大な話を、君はやろうとしていたのだね。
……私はまだ、軍でやることがある。だから、今もまだ軍属でいることを選んだ。ただ、それだけさ。

ハルヒコ

A：まーまーいいじゃねえか！コイツラが暴れてきた分、俺たちが整備をする。そんでまた大暴れしてもらえりゃ、それが一番なんだっつーの。そうだろう？

B：二度と戦争を人の手で起こさせない為に、お前は命を弄ぶことを選んだ…あんな計画に関わること自体が、愚かなことだとお前は何か気づこうとしないんだ！

ユキ

A：「お疲れさま～」じゃないわよ！私プリフライトチェックの時に言ったよね！？無茶な飛び方するなって！いつもいつも言ってるでしょ！？機体のことをちゃんと考えて飛べって！

B：この子は…勉強が苦手ですぐにふざけて、口も多いしすぐ泣くし…でも、立派な人間だよ。アンタは……そんな事もわからないの？

シゲル

A：この計画が成功すれば、世界は変わる。変えられる。…私は、そう強く信じている。変えてやる。変えてみせる。そう、強く願っている。

B：…私に指図するのか？空を泳ぐこと以外に、お前に存在価値や存在意義があるのか？余計な質問をせず、任務を遂行することがお前の存在意義だ。